

泉南走ろう会

連絡先 泉南走ろう会 0724-83-4653

会長は応援に行く

六甲金山縦走タイムトライアル

倉 遠健三

この大会は本格的な山岳マラソンであり、東の富士登山マラソン、西の六甲金山縦走マラソン、どちらも日本一苛酷な登山マラソンといわれまわります。何故両方とも日本一なのかは、その日の天候、参加する人のその日の体調により、さっつければ「これは、これは日本一さっつけい苛酷な大会だ」となる。

そのように六甲金山縦走はさつ大会です。

栗野原、細井牧野、宮下、岡田各選手参加する、ギョギョ。

真鍋さん、松井さん、兼ねてから是非とも応援に行く頑張でほしいと選手を励まして、おりました。当日は、どうも前日より、雨らしい。昨年もそうであった。これはヤバイ。もしも、選手に何かアクシデントがあればと思ひ、遠急き、応援に行くこととなる。

速い選手は午後一時には、ゴ止するであろう。それでは、十二時までは、ブル地点に行き、選手を迎えようと、朝早く、三人、阪和線に乗り、あわて、阪急電車に乗ったのはいいが、気がせきものだから、下車駅を間違えるは、それより塩尾寺までの道が分からなくなる。いやいや、タクシーに乗り、ブル地点に行く。午後一時前であった。小雨のため、あわてて真鍋さんテントを張る。岡田さん、ゴールする。間に合せてよかった。前日の雨、当日の小雨、それに霧、最悪のコンディションである。これが日本一、苛酷な山岳マラソンとなった。杜絶、まさに生地獄。なにせ、六甲山系は標高約千米で、気温差が大きく、天候も急変しやすく、また近年、アルプス以前、壊が激しく危険である。ましてや、霧が吹くと、登山道は見えなくなる。雨のため、東六甲縦走路より大谷乗越の道はグチャグチャである。これも完走するには、常日頃のトレーニングと艱難辛苦に耐える強い意志が必要である。



扱いた勝利の余韻が自然と滲み出ているのである。これが本格的な山岳マラソン、貴重な体験を得たことだと思ふ。参加された選手に、おめでとうのお祝いのことばと敬意を表わします。応援の真鍋さん、松井さん、ありがどう御苦勞様でした。さて、例により、天王寺「百番」にて、打上げとなるが、隣席は皆が皆ブルで、大変な御馳走であるが、私達は何時ものことながら、ささやかな、つましいものであるが、完走の喜びと苦斗の話題は、何よりも、もまして大御馳走となり、楽しい祝宴であったと思ひます。貴重なる体験、職場にまた人生の糧として、明日から頑張って下さい。



ニュース

一、クロスカントリーにフジマ

四月十二日高野山、明石道、クロスカントリーラ
リーに粟野原さん、岡田さん、遠参加
いたしました。百八拾町(約十九キロ)の距
離です。岡田さん一七三名中一三位にてゴ
ールする。立派、立派。

本格的なクロスカントリーコースでした。
景色良好、コース良好、来年は皆様も
どうぞ。

ニ、ウーキングにフジマ

究極の雨男、天の邪鬼、遠昨年末十月
二十八日より平成胃一月一日まで雨、雪の
中スタート「伊勢近歩講」に参加して
キロ完歩する。引続きこの胃十八日ま
り十九日まで「一発チャレンジ」のキロ(連
続歩行)に大阪、京都往復淀川、柱
川の堤防を寒冷前線通過のため、風
雨にあいながら、二五時間にて六〇人中
八位にて完歩する。

三、挑戦することほ

さほどむずかしくないが

限界を見極めることは

並大抵ではない

無事安全に完走(完歩)することある。



お知らせ

一、例会日

胃二十六日午前九時

一、場所

新家種河神社前広場

一、コース

皆と相談して決める。

一、神鍋高原マラソン大会にフジマ

八月三十日開催です。

申込期限六月三十日まで

民宿「神鍋屋」

一括申込み、参加御希

望の方は走ろう会事務

務局(泉南スポーツ社)

まで。

一、備考

次回例会日は五月十日

です。

